

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	改善目標、工夫している点など
環境・ 体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	○			活動によって部屋を分けている。
	2	職員の配置数は適切であるか	○			配置3名に対し、5~6名で対応している。(10:2 15:3+α)
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	○			段差の工夫あり(手すり、スロープなど)
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	○			
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	○			保護者の意向等を把握するため、アンケートを行っている。(H27年放課後等デイサービスニーズ調査実施)
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	○			H28年度自己評価実施。保護者に配布。
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか			○	
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	○			月2回内部研修、年に数回研修を行っている。(CDS-J・幼通協加盟)
適切な 支援の 提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか		○		保護者の困り感にその都度対応している。アセスメントが不十分。
	10	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	○			(VMI JSI-R PVT-R RAN 課題 WISC-IV等)状況に応じて使用している。
	11	活動プログラムの立案をチームで行っているか	○			担当職員を中心として作成している。
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	○			
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか		○		長期休暇も日数、時間も変わらない。季節、行事など、対応している。
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか	○			
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	○			事前にプログラムを立案し確認している。
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	○			全グループ支援終了後に全員で振り返り、共有している。
17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	○			記録をする時間を確保している。	

	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	○			年2回実施している。
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ合わせて支援を行っているか	○			ガイドラインの周知徹底を心がけている。
関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	○			
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っているか	○			必要に応じて対応している。
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか		○		訪問看護ステーション等と医療連携に努めている。母親に別室で待機してもらっている。(ミーティング、面談)
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	○			
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか		○		対象者無し
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	○			
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか			○	今後の課題としてとらえている。
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか	○			管理者が月1回参加している。
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	○			学校での状況を定期的に聞くようにしている。
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか	○			臨床心理士が、グループミーティング等で保護者支援をおこなっている。
保護者への説明責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	○			契約時に、管理者が行っている。
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	○			療育日だけでなく、電話での相談を受け、いつでも対応できるようにしている。
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか		○		保護者会はないが、グループミーティングを設定している。

	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	○			担当が窓口となり、苦情解決につとめている。
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか			○	
	35	個人情報に十分注意しているか	○			
	36	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	○			
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	○			事業所の祭りや、芋ほりなど声をかけている。
非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか		○		職員には周知しているが保護者にはしていない。
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか			○	こども発達支援センターのぞみの児童発達支援では毎月1回実施している。
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	○			外部研修、内部研修共に行っている。
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか		○		現在、身体拘束の必要性のある対象者はなし。
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか			○	食事提供なし
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	○			

こども発達支援センター 放課後等デイサービス自己評価  
 管理者・児童発達支援管理責任者（2名）3者による協議

2017年5月31日実施

・・・まとめ・・・

- ・アンケート調査を行い、今年度月1回の利用から、来年度月2回の利用に出来るようにした。
- ・防犯カメラの設置をおこない、防犯対策に努めた。
- ・学校と連携する回数が増え、学校側の放課後等デイサービスに対する理解が深まっている。
- ・こどもたちの特性にあったグループワークを行うため、支援員は研修に行き、自己研鑽に励み、チームでの計画・実行・評価・改善に努めていった。